

第111回 (2025年度第10回) 極限宇宙研究拠点セミナー (the 10th Core-U Seminar in FY2025)

日時：2025年11月21日(金)10:30 - 12:00

Date/Time: Nov.21 (Fri), 2025, 10:30-12:00

場所：理学部 E203 Location: Faculty of Science, E203

講師：長谷川 雅也 氏 (KEK / QUP) および
茅根 裕司 氏 (QUP)

講演題目

CMB偏光観測実験の最前線：いよいよはじまった
Simons Observatory実験

要旨

宇宙がどのように誕生し、どのように進化してきたのか？という問いは、現代科学が取り組む最重要課題の一つです。その鍵を握る理論として、誕生直後の宇宙が急激に膨張したとするインフレーション理論が提案されており、近年の観測技術の進歩によって、その実験的検証が現実味を帯びてきました。なかでも、宇宙マイクロ波背景放射（CMB）の偏光成分、特にBモード偏光はインフレーションの痕跡を探る最良のプローブとして期待されています。本セミナーでは、CMB偏光観測の基礎から、昨年度チリにて観測を開始した世界最大級の望遠鏡群実験「Simons Observatory」の最新状況まで、現在進行中の研究の最前線と将来展望を紹介します。

本セミナーは共同セミナー（理工学融合共同演習）の対象です。共同セミナーの出欠確認は対面参加者のみとし、出欠はセミナー終了時にE203で取ります。サインを記入する書類を持参して下さい。

「広島大学 極限宇宙研究拠点（Core-U）セミナー」世話人 両角卓也、山口頼人、水野恒
および本間謙輔

問合せ先：e-mail: khomma@hiroshima-u.ac.jp